

四半期報告書

(第21期第2四半期)

自 平成24年4月1日
至 平成24年6月30日

ソフトブレーション株式会社

東京都中央区日本橋二丁目1番3号

目 次

頁

表 紙

第一部 企業情報

第1 企業の概況

- 1 主要な経営指標等の推移 2
- 2 事業の内容 2

第2 事業の状況

- 1 事業等のリスク 3
- 2 経営上の重要な契約等 3
- 3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析 3

第3 提出会社の状況

1 株式等の状況

- (1) 株式の総数等 5
- (2) 新株予約権等の状況 5
- (3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等 5
- (4) ライツプランの内容 5
- (5) 発行済株式総数、資本金等の推移 5
- (6) 大株主の状況 6
- (7) 議決権の状況 6

2 役員の状況 7

第4 経理の状況 8

1 四半期連結財務諸表

- (1) 四半期連結貸借対照表 9
- (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 11
 - 四半期連結損益計算書 11
 - 四半期連結包括利益計算書 12
- (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 13

2 その他 16

第二部 提出会社の保証会社等の情報 16

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年8月10日
【四半期会計期間】	第21期第2四半期（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）
【会社名】	ソフトブレイン株式会社
【英訳名】	SOFTBRAIN Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 豊田 浩文
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋二丁目1番3号
【電話番号】	03（6214）1700（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役 管理本部長 木下 鉄平
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区日本橋二丁目1番3号
【電話番号】	03（6214）1700（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役 管理本部長 木下 鉄平
【縦覧に供する場所】	ソフトブレイン株式会社関西支社 （大阪府大阪市北区曽根崎二丁目11番8号） ソフトブレイン株式会社中部支店 （愛知県名古屋市中区錦一丁目20番10号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第20期 第2四半期 連結累計期間	第21期 第2四半期 連結累計期間	第20期
会計期間	自平成23年1月1日 至平成23年6月30日	自平成24年1月1日 至平成24年6月30日	自平成23年1月1日 至平成23年12月31日
売上高（千円）	1,619,096	2,001,893	3,397,148
経常利益（千円）	188,824	287,699	454,699
四半期（当期）純利益（千円）	147,379	169,073	346,224
四半期包括利益又は包括利益（千円）	186,581	200,923	426,651
純資産額（千円）	1,516,462	1,963,752	1,759,770
総資産額（千円）	2,185,913	2,759,274	2,454,627
1株当たり四半期（当期）純利益金額（円）	503.77	577.93	1,183.47
潜在株式調整後1株当たり四半期（当期） 純利益金額（円）	—	—	—
自己資本比率（％）	59.5	60.5	61.1
営業活動による キャッシュ・フロー（千円）	283,058	482,527	363,950
投資活動による キャッシュ・フロー（千円）	△54,706	△95,076	△102,960
財務活動による キャッシュ・フロー（千円）	△40,000	—	△76,524
現金及び現金同等物の四半期末（期末） 残高（千円）	1,271,421	1,655,114	1,267,134

回次	第20期 第2四半期 連結会計期間	第21期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成23年4月1日 至平成23年6月30日	自平成24年4月1日 至平成24年6月30日
1株当たり四半期純利益金額（円）	375.39	268.97

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第20期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」（企業会計基準第25号 平成22年6月30日）を適用し、遡及処理しております。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しております。当該内容につきましては、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項（セグメント情報等）セグメント情報」に記載しております。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結累計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年発生した東日本大震災に伴う経済活動の低迷より、主に非製造業や個人消費などの分野では前年度と比べ一部回復の兆しが見られるものの、円高基調の為替水準が企業収益に与える影響や、個人における所得環境の厳しさ、さらには欧州をはじめとした不安定な海外経済の影響などから、依然として景気動向の先行きには予断を許さない状況が続いています。

このような状況の下、当社グループは、「ツールとサービスの融合」「ボリュームゾーンへの挑戦」「スピードアップと効率化の実践」を経営方針とし、業績向上に向けて取り組んでまいりました。これらの経営方針のもとに、近年企業間でも急速に普及の進む、スマートフォンやタブレット端末でも利用可能なSFA/CRMパッケージソフト「eセールスマネージャーRemix Cloud」の販売活動を実施するとともに、営業マン育成コンサルティングなどの教育研修サービスを提供しております。また、フィールドマーケティング事業やMVNO・MVNE事業等も引き続き堅調に推移したことから、当第2四半期連結累計期間における売上高は2,001百万円（前年同期比23.6%増）となりました。

利益面におきましては、売上高増加に伴う売上総利益の増加により、営業利益284百万円（前年同期比57.5%増）、経常利益287百万円（前年同期比52.4%増）、当期純利益169百万円（前年同期比14.7%増）となりました。

セグメント別に見ますと、「eセールスマネージャー関連事業」は、主力製品でもあるスマートフォン、タブレット端末対応の「eセールスマネージャーRemix Cloud」の販売を中心に、他システムとの連携開発や営業マン育成コンサルティングをはじめとした教育研修等のサービスを提供してまいりました。これらが当第1四半期に引き続き堅調に推移した結果、売上高996百万円（前年同期比7.5%増）、セグメント利益128百万円（前年同期比78.8%増）となりました。

「フィールドマーケティング事業」では、主に店頭における営業支援活動及びマーケットリサーチ事業を手掛けております。当事業では品質向上を常に意識するとともに、企業ニーズの高まりに応えるよう営業活動を続けた結果、既存顧客のリピートや、大型案件の獲得につながるなど好調に推移しました。その結果、売上高579百万円（前年同期比65.5%増）、セグメント利益98百万円（前年同期比63.5%増）となりました。

「システム開発事業」は、豊富な開発経験による業務要件整理から、SI受託開発サービスとBPO事業のサービスを提供していく中で、既存顧客における更なる開発案件の創出と新規顧客の獲得に努めてまいりました。その結果、売上高295百万円（前年同期比12.3%減）、セグメント利益25百万円（前年同期比51.1%減）となりました。

その他は、MVNO・MVNE事業、書籍企画販売事業を中心に、売上高258百万円（前年同期比5.6%増）、セグメント利益28百万円（前年同期比197.2%増）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ387百万円増加し、1,655百万円となりました。各キャッシュフローの増減とその要因は次の通りです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は、482百万円（前年同期は283百万円の収入）でした。これは主に税金等調整前四半期純利益282百万円、減価償却費60百万円、前受金76百万円などの増加要因によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により支出された資金は、95百万円（前年同期は54百万円の支出）でした。これは主に無形固定資産の取得による支出68百万円、有形固定資産の取得による支出15百万円などの減少要因によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により支出された資金の増減はありませんでした（前年同期は40百万円の支出）。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は16百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	1,200,000
計	1,200,000

②【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成24年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年8月10日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	309,550	309,550	東京証券取引所 市場第一部	権利内容に何ら限定のない当 社における標準となる株式で あります。なお、単元株制度 は採用しておりません。
計	309,550	309,550	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年4月1日～ 平成24年6月30日	—	309,550	—	826,064	—	616,734

(6) 【大株主の状況】

平成24年6月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総 数に対する所 有株式数の割 合(%)
宋 文洲	東京都中央区	40,371	13.04
ソフトブレイン株式会社	東京都中央区日本橋2-1-3	17,000	5.49
山本 久恵	愛知県西尾市	6,802	2.19
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1-8-11	5,821	1.88
畠山 敬一郎	岩手県盛岡市	5,047	1.63
INTERACTIVE BROKERS LLC (常任代理人 インタラクティブ・ ブローカーズ証券株式会社)	One Pickwick Plaza, Greenwich, CT 06830 United States (東京都中央区日本橋茅場町3-2-10)	3,483	1.12
地藤 炳	徳島県阿南市	2,794	0.90
日本証券金融株式会社	東京都中央区日本橋茅場町1-2-10	2,766	0.89
七田 真之	東京都目黒区	2,728	0.88
株式会社エイジア	東京都品川区西五反田7-21-1	2,700	0.87
計	—	89,512	28.92

(7) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成24年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 17,000	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 292,550	292,550	—
端株	—	—	—
発行済株式総数	309,550	—	—
総株主の議決権	—	292,550	—

(注) 「完全議決権株式(その他)」欄には、証券保管振替機構名義の株式が28株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数28個が含まれております。

② 【自己株式等】

平成24年6月30日現在

所有者の氏名又は 名称	所有者の住所	自己名義所有株式 数(株)	他人名義所有株式 数(株)	所有株式数の合計 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
ソフトブレイン 株式会社	東京都中央区日本 橋2-1-3	17,000	—	17,000	5.49
計	—	17,000	—	17,000	5.49

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

(1) 新任役員

役名	職名	氏名	生年月日	略歴	任期	所有株式数 (株)	就任年月日
監査役		原田 伸宏	昭和35年7月30日生	昭和58年4月 三井生命保険相互会社（現三井生命 保険株式会社）入社 平成4年3月 青山監査法人（現あらた監査法人） 入社 平成7年8月 監査法人トーマツ入社 平成9年1月 原田公認会計士・税理士事務所を開 設 所長就任（現任） 平成14年1月 有限会社ビジネスブレイン原田会計 を設立 代表取締役就任（現任） 平成19年1月 株式会社門井商会 会計参与 （現任） 平成24年6月 株式会社アゲル 会計参与（現任） 平成24年6月 当社監査役就任（現任）	(注)	—	平成24年 6月30日

(注) 退任した監査役の補欠として就任したため、任期は前任者の任期満了の時である平成26年12月期に係る定時株主総会の終結の時までであります。

(2) 退任役員

役名	職名	氏名	退任年月日
監査役		数納 壽	平成24年6月30日

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年1月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、清和監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,267,134	1,655,114
受取手形及び売掛金	487,151	476,501
商品及び製品	51,425	48,813
仕掛品	26,826	34,053
原材料及び貯蔵品	550	525
繰延税金資産	143,304	84,439
その他	111,166	53,921
貸倒引当金	△2,160	△1,910
流動資産合計	2,085,399	2,351,459
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	45,859	47,536
減価償却累計額	△29,902	△31,994
建物及び構築物（純額）	15,957	15,541
その他	237,042	243,140
減価償却累計額	△194,752	△204,575
その他（純額）	42,290	38,564
有形固定資産合計	58,247	54,106
無形固定資産		
ソフトウェア	171,316	182,199
のれん	559	—
その他	915	15,165
無形固定資産合計	172,791	197,365
投資その他の資産		
投資有価証券	11,199	9,883
差入保証金	42,563	60,604
破産更生債権等	35,271	35,271
繰延税金資産	78,282	80,625
その他	6,143	5,230
貸倒引当金	△35,271	△35,271
投資その他の資産合計	138,189	156,343
固定資産合計	369,228	407,815
資産合計	2,454,627	2,759,274

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	125,319	133,492
短期借入金	150,861	150,872
未払金	66,828	95,014
未払法人税等	43,678	25,662
未払役員賞与	7,699	7,364
前受金	170,308	246,664
賞与引当金	39,614	18,045
返品調整引当金	6,490	7,330
その他	84,058	111,076
流動負債合計	694,857	795,522
負債合計		
	694,857	795,522
純資産の部		
株主資本		
資本金	826,064	826,064
資本剰余金	616,734	616,734
利益剰余金	325,447	494,521
自己株式	△263,285	△263,285
株主資本合計	1,504,960	1,674,034
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△6,117	△5,546
その他の包括利益累計額合計	△6,117	△5,546
少数株主持分	260,927	295,264
純資産合計	1,759,770	1,963,752
負債純資産合計	2,454,627	2,759,274

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	1,619,096	2,001,893
売上原価	813,363	1,022,319
売上総利益	805,733	979,574
割賦販売未実現利益戻入額	2,294	150
返品調整引当金繰入額	—	6,031
差引売上総利益	808,027	973,692
販売費及び一般管理費	※ 627,539	※ 689,502
営業利益	180,488	284,190
営業外収益		
受取利息	166	146
持分法による投資利益	1,994	—
補助金収入	6,935	3,168
その他	1,291	3,644
営業外収益合計	10,388	6,959
営業外費用		
支払利息	1,465	1,024
持分法による投資損失	—	1,316
為替差損	450	179
その他	136	930
営業外費用合計	2,052	3,450
経常利益	188,824	287,699
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,290	—
特別利益合計	1,290	—
特別損失		
固定資産除却損	110	2,627
減損損失	—	2,961
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	6,931	—
特別損失合計	7,042	5,589
税金等調整前四半期純利益	183,072	282,110
法人税、住民税及び事業税	23,249	21,134
法人税等調整額	△26,332	60,623
法人税等合計	△3,082	81,757
少数株主損益調整前四半期純利益	186,155	200,352
少数株主利益	38,775	31,278
四半期純利益	147,379	169,073

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	186,155	200,352
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	426	571
その他の包括利益合計	426	571
四半期包括利益	186,581	200,923
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	147,679	169,475
少数株主に係る四半期包括利益	38,902	31,447

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	183,072	282,110
減価償却費	68,327	60,093
減損損失	—	2,961
長期前払費用償却額	812	950
のれん償却額	609	559
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,290	△250
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△29,412	△21,903
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△7,333	840
受取利息及び受取配当金	△166	△146
支払利息	1,465	1,024
持分法による投資損益 (△は益)	△1,994	1,316
有形固定資産除却損	110	2,567
無形固定資産除却損	—	60
売上債権の増減額 (△は増加)	126,762	10,884
たな卸資産の増減額 (△は増加)	28,051	△5,801
仕入債務の増減額 (△は減少)	△64,053	8,160
前受金の増減額 (△は減少)	49,532	76,356
その他	△1,585	73,769
小計	352,907	493,555
利息及び配当金の受取額	166	146
利息の支払額	△1,492	△976
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△68,523	△10,197
営業活動によるキャッシュ・フロー	283,058	482,527
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△33,367	△15,578
無形固定資産の取得による支出	△61,046	△68,055
投資有価証券の取得による支出	△5,440	—
投資有価証券の売却による収入	44,876	—
差入保証金の差入による支出	△125	△11,964
差入保証金の回収による収入	395	520
投資活動によるキャッシュ・フロー	△54,706	△95,076
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△40,000	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△40,000	—
現金及び現金同等物に係る換算差額	450	529
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	188,802	387,980
現金及び現金同等物の期首残高	1,082,618	1,267,134
現金及び現金同等物の四半期末残高	* 1,271,421	* 1,655,114

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
給料手当	188,054千円	196,877千円
賞与	30,941	36,109
賞与引当金繰入額	9,297	16,284
販売促進費	28,490	39,651
業務委託料	38,937	38,868
減価償却費	19,149	13,198

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
現金及び預金勘定	1,271,421千円	1,655,114千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	-	-
現金及び現金同等物	1,271,421	1,655,114

(株主資本等関係)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)

配当に関する事項

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)

配当に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	eセールスマネージャー 関連事業	フィールド マーケティング 事業	システム 開発事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	916,079	321,722	167,926	1,405,729	213,367	1,619,096	—	1,619,096
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	10,952	28,405	169,112	208,470	31,317	239,787	△239,787	—
計	927,032	350,128	337,038	1,614,199	244,685	1,858,884	△239,787	1,619,096
セグメント利益	71,894	60,134	51,740	183,769	9,449	193,219	△12,730	180,488

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、MVNO事業、書籍企画販売事業、採用支援事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△12,730千円には、セグメント間取引消去1,841千円、のれん償却△609千円、固定資産の調整額△13,962千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	eセールスマネージャー 関連事業	フィールド マーケティング 事業	システム 開発事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	988,343	544,891	226,611	1,759,846	242,047	2,001,893	—	2,001,893
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	8,019	34,535	68,913	111,468	16,371	127,840	△127,840	—
計	996,362	579,427	295,525	187,314	258,418	2,129,733	△127,840	2,001,893
セグメント利益	128,537	98,290	25,299	252,127	28,085	280,212	3,977	284,190

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、MVNO事業、書籍企画販売事業、採用支援事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額3,977千円には、固定資産の調整額4,288千円、棚卸資産の調整額△310千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結累計期間から、成長戦略に則ったマネジメント・アプローチの考え方にに基づき、より事業の実態に即し「eセールスマネージャー関連事業」及び「フィールドマーケティング事業」の2セグメントから、「eセールスマネージャー関連事業」、「フィールドマーケティング事業」及び「システム開発事業」の3セグメントに変更いたします。なお、前期において「システム開発事業」は、「eセールスマネージャー関連事業」に含まれており、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

各報告セグメントに属する主要な製品・サービス種類は、下表のとおりであります。

報告セグメント	主要商品
eセールスマネージャー関連事業	ソフトウェアのライセンス、Cloudサービス、コンサルティング、カスタマイズ開発、教育研修
フィールドマーケティング事業	フィールド活動業務、マーケット調査
システム開発事業	ソフトウェアの受託開発、オフショア開発、BPO推進事業

(1 株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	503円77銭	577円93銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額 (千円)	147,379	169,073
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額 (千円)	147,379	169,073
普通株式の期中平均株式数 (株)	292,550	292,550

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年8月9日

ソフトブレーン株式会社

取締役会 御中

清和監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 南方 美千雄 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 芳木 亮介 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているソフトブレーン株式会社の平成24年1月1日から平成24年12月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年1月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ソフトブレーン株式会社及び連結子会社の平成24年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。

【表紙】

【提出書類】	確認書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の8第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年8月10日
【会社名】	ソフトブ레인株式会社
【英訳名】	SOFTBRAIN Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 豊田 浩文
【最高財務責任者の役職氏名】	該当事項はありません。
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋二丁目1番3号
【縦覧に供する場所】	ソフトブ레인株式会社関西支社 (大阪府大阪市北区曾根崎二丁目11番8号) ソフトブ레인株式会社中部支店 (愛知県名古屋市中区錦一丁目20番10号) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役豊田浩文は、当社の第21期第2四半期（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認しました。

2 【特記事項】

特記すべき事項はありません。